

【長崎短期大学 令和3年度決算について】

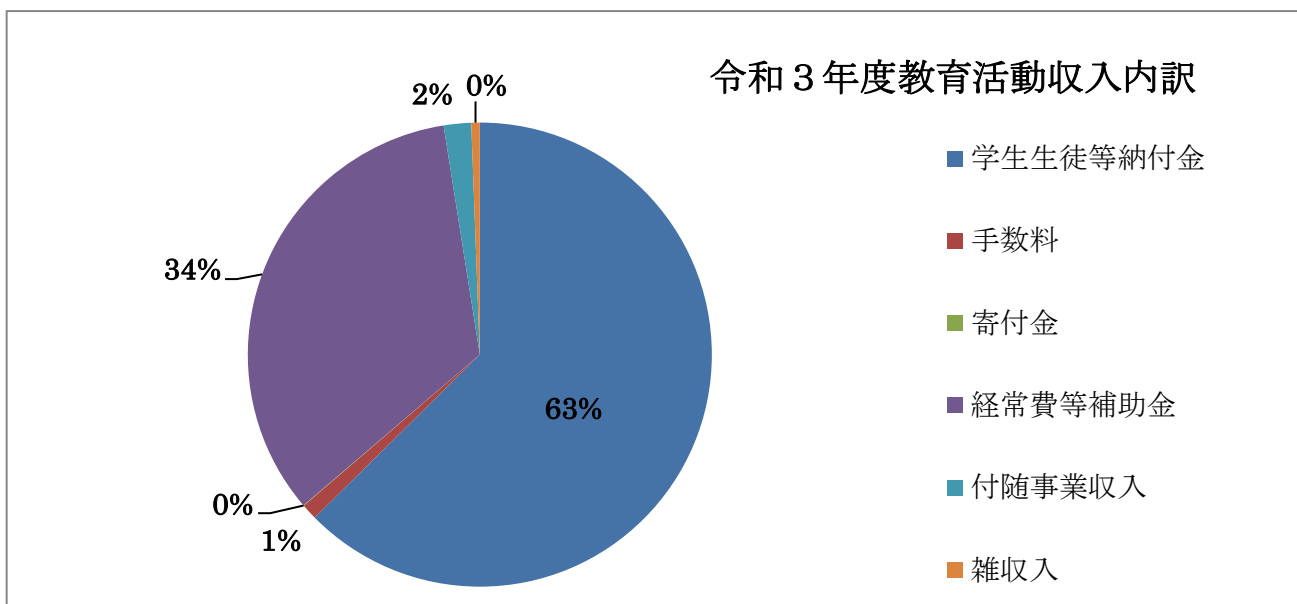
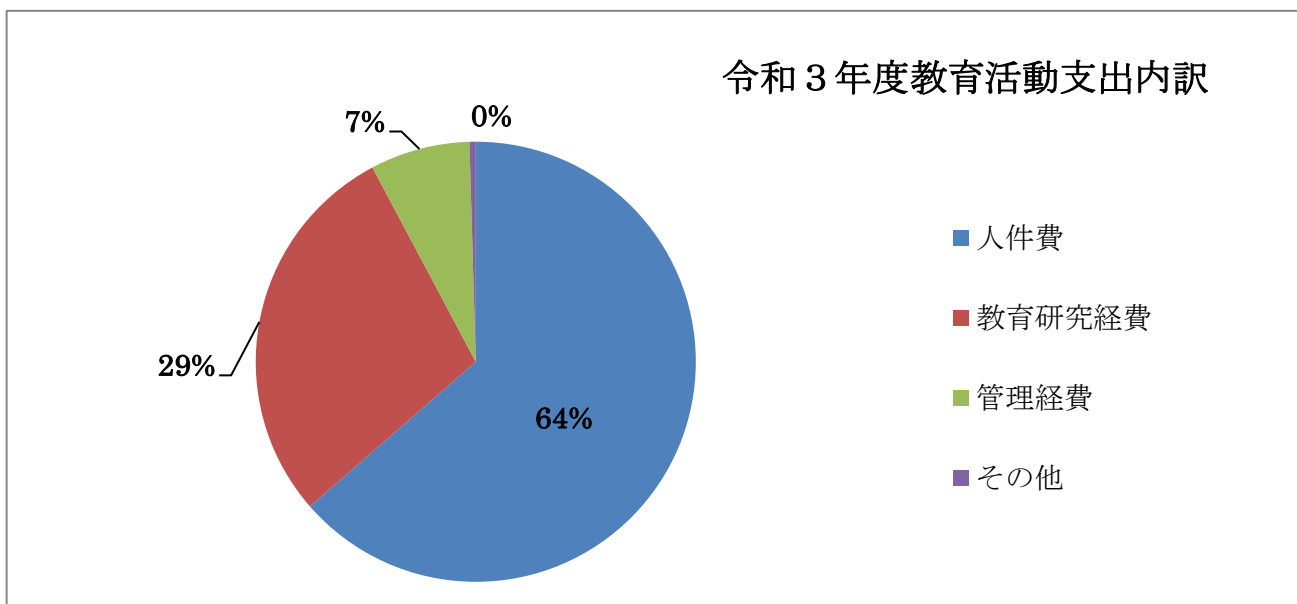
1. 本学の経常収支表

令和3年度の教育活動収支の概略を下記の図表に示します。

(単位：千円)

科目	R1 決算	R2 決算	R3 決算
学生生徒等納付金	463,463	428,699	369,174
手数料	7,445	6,045	6,524
寄付金	262	3,252	181
経常費等補助金	158,899	219,723	199,048
付随事業収入	21,852	16,863	11,250
雑収入	19,841	16,751	3,483
教育活動収入計・・・①	671,762	691,333	589,660
人件費	423,108	441,986	442,447
教育研究経費	193,829	215,731	199,195
管理経費	50,071	43,963	50,947
その他	6,456	8,968	3,194
(教育研究経費減価償却額・・・③)	(58,760)	(59,948)	(61,219)
(管理経費減価償却額・・・④)	(2,437)	(2,452)	(2,452)
教育活動支出計・・・②	673,464	710,648	695,783
教育活動収支差額・・・①-②	-1,702	-19,315	-106,123
(減価償却除く・・・①-②-③-④)	59,495	43,085	(42,452)
基本金組入前当年度収支差額	578	(192,736)	(90,663)

※千円未満の金額を四捨五入



2.本学の財務状況（令和3年度）

収入面においては、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、2年連続留学生が入国できなかったため、学納金収入及び経常費補助金収入が対前年比減少しました。一方、支出面においては、経費削減に取り組んだものの減収分を補うまでは至らず、経常収支差額は大幅なマイナス計上となりました。

このような状況下においても、学修機会の確保のため補助金の活用により、遠隔授業に対応できるネットワーク環境を整備しました。また、学生数の定員確保に注力した結果、次年度の入学者数は増加に転じることができました。離学者防止及び適正な経費支出により、次年度は収支差額の改善に務めて参ります。

3.令和3年度に行った事業の特記事項

★体育館 AED 設置



学生の安心・安全を目的とし、また地域の方々の避難所でもある事から、新たに体育館にも AED を設置しました。

★調理実習室給湯器入れ替え



調理実習室の給湯器をリニューアルしました。

また、ご覧いただけませんが、ガス管の取替工事も行い、実習がスムーズに行くようになりました。

調理実習の回数が多いことも、本学地域共生学科・食物栄養コースの特徴であり、日々、実習を重ね、栄養士資格取得に向け取り組んで参ります。